

シグマ研究委員会核データ情報許価専門部会 弾性，非弾性散乱W.G.会合

日 時 昭和45年12月14日(月)

場 所 原研本部第2会議室

出席者 神田，村田，松延，山越，中村，金森，五十嵐

議 事

1. PuとUデータの検討

PuとUのデータについてはコンピレーションのレポートが出た。これを中心に話し合いが行なわれた。レポートのミスとして、エネルギー範囲の記入がなかつたことと、グラフから読み取つたデータの記号Gの説明がないことが指摘された。Puの第Pu-4.3表は²³⁹PuではなくPuであるとの訂正があつた。Uの第U-3.34図で61Laはfissionのcorrectionがなされていない。66Baと63Smの喰違ひは調べてみないと分らない。Puについては松延氏がsurvey計算をやつている旨の報告があつた。今後の進め方としてはデータの選択から始めてreference dataを決め、計算との比較を行う。

2. 中重核，軽い核

データのコンピレーションを行つているが、それぞれ3月末までにレポートを出す予定である。現在グラフにタイトルを記入中であるが、テーブルを編集する作業が残つている。

3. 今後の進め方

PuとUについてはreference dataを4月中に決定し、計算に入る。中重核は少し遅れるが同様の作業を行う。軽い核はしばらく見送り、Pu, U, Ni, Fe, Cr, のデータを先きに片づける。

従つて来年度予定としてはW.G.を現在のまゝ存続させ、当初の予定を完了させる。